**令和5年度
関市行政改革推進審議会
会議録**

-概要版-

(令和6年3月15日)

関市行政改革推進審議会

1 日 時

令和6年3月15日（金曜日） 午前10時00分～午後0時00分

2 場 所

関市役所 6階 6-2会議室

3 出席者

委員（10名）

（敬称略、順不同）

区 分	氏 名	選 出 団 体 名
1号委員	早川 貞子	関市地域女性の会連合会
〃	佐伯 義夫	連合岐阜中濃地域協議会
〃	○ 櫻井 寛和	関市自治会連合会
〃	鈴木 良春	岐阜県関刃物産業連合会
〃	多田 幸泰	関青年会議所
〃	井上 一郎	関市西商工会
2号委員	石原 輝明	学識経験者
〃	◎ 藪下 武司	学識経験者
4号委員	加藤 知子	一般公募
	野田 哲貴	一般公募

◎：会長、○副会長

事務局

市長公室長ほか4名

4 欠席者

委員（3名）

（敬称略、順不同）

区 分	氏 名	選 出 団 体 名
1号委員	石竹 智範	関金融協会
〃	各務 剛児	関商工会議所
4号委員	林 加奈	一般公募

5 傍聴者

なし

6 次 第

1 開 会

2 議 事

- ①せき行財政改革アクションプランⅢ 実績報告【資料1】
各項目について3年間の取組総括と今後の方向性の報告

- ②今後の行財政改革について【資料2】
関市における行財政改革の課題と今後の方向性について説明

3 閉 会

(午前 10 時 00 分 開会)

○開会挨拶（事務局）

○議事①

・せき行財政改革アクションプランⅢの取組について、実績報告書にて事務局より説明。

【主な意見】

<改革項目 9 消防団組織の見直し>

委員：ポンプ車 6 台を売却とのことだが、以前、廃棄するような消防車を国外に寄付をして大変喜ばれたことがあったが、今はそのようなことは行わないのか。

事務局：そのような予定はなく、市内の事業者の入札となる。

<改革項目 14 水道事業経営戦略の見直し>

委員：この 3 年間、コロナ禍において職員の皆さんがとても頑張っていると思って見させていただいた。庁舎内においては一定程度の成果があがっていると私も思うが、市民サービスにおいてはもう少し丁寧に慎重にということを感じた。社会インフラである水道で、3 割ほど水道管からの水の流出があり、大変な財政難になっていると聞いた。ようやく水道料を上げて、来年度から工事を行うようだが、もっとスピーディーにやるべきであり、民間企業であれば直ちに対応していくと考えるが、そういう意味で市は楽観視しており、ようやく腰があがったと感じている。

4 月からいよいよ働き方改革がスタートし、心配しているのが医療関係、介護施設の方々への規制であり、建設業界においても色々と状況が変わっていく中で、状況をしっかり見据えて次年度の計画、または計画の準備段階へ入ってほしいと思う。3 か月、半年先を見て、いい点悪い点、問題点や課題などを確認出来たらすぐに対応していこうと思っている。4 月から景色が変わるという大きな認識を持って、令和 6 年度の対応を考えてもらえたらと思う。

<改革項目 17 広告収入の拡充>

委員：「現状と課題」欄には「ネーミングライツが期待できる施設が多くあるにもかかわらず」とありながら、3 年間の取り組み総括では「ネーミングライツの導入について適すると考えられる施設は少数であり」と記載がある。表記の読み取りについて分かりづらいので補足説明をお願いしたい。

事務局：「現状と課題」欄と実績報告の内容について整合性がとれていない点について、

プラン作成当初は、市内に多くある公共施設を活用することで収入の増加を期待していたが、実際にネーミングライツ導入を進めようとした際に、市民の方からの認知、利用実績、施設規模等が必要となり、実際に適する施設は少数であったという結果となった。

委員：「多くあるにもかかわらず」という点については、対象となる市内の公共施設の分母が分かるはずであるため、それを先に示しておくべき。

委員：数値目標や実績値が上がっているものは、国や岐阜県が推進しているもので、関市も力を入れるため上がっているものが多い。また、働き方改革等庁舎内での取組については多く達成しているが、市民の方に関するものはなかなか変わっていないと感じた。また、実績値が上下しているものについては、原因、理由を見つけて欲しい。

各項目の評価の仕方に関しては、委員の皆様方の意見によって毎年少しずつ変わってきており分かりづらいこともあったかと思う。

<改革項目 21 テレワーク（在宅）勤務、オンライン会議の推進>

委員：自身も通勤に往復3時間程度かかるが、在宅する事で通勤時間が減り、小さな子どもがいたり介護をしている方は融通がきいて働きやすくなる。場合によっては会社を辞めたり、休業しなくて済むこともあると思う。業務によっては在宅が難しいこともあるが、働く側、会社や市役所側双方にいいことであるので推進して頂きたい。

<改革項目 28 電子申請の導入（押印廃止の推進）>

委員：今年初めて確定申告をスマートフォンで行った。きっかけは「やってみると簡単だ」ということを目にしたことであり、電子申請についても市民へのインパクトのあるPRがあると、やってみようと思う方も多いのではないかと。

また、全体について、取組の成果として7割が達成とあり、これはすごい数値だと個人的には思う。職員の努力だと感じたが、今後は、職員ひとりひとりに行革に対する意識が必要であり、職員へどう周知していくか、意見をどう吸い上げるか。目標の下方修正もあってもいいと思うが、職員全体が関市はこのように取り組んでいるんだ、という思いを一つにする取り組みが必要ではないか。

委員：電子申請をしたくても、武芸川にはコンビニ少なく、寺尾・洞戸・板取にはコンビニがない。関市中心部との格差があり、地域の住民が気軽に手続きができる仕組みを考えていただきたい。

交通、通学についても不都合を感じており、過疎化が止まらない状況である。熊が多く出るのも過疎化の問題だと言われており、熊が出ない対策も行ってほ

しい。

＜改革項目 29 市民への情報発信の充実（チャットボットの導入）＞

委員：3月末に事業終了となるが、目標数値としての「チャットボットの回答数」は確かに達成ではある。しかしチャットボットがなくなってしまうたら、市民に対してのよりよい情報提供という点において、果たしてそれは達成でいいのかと思う。維持管理コストがかかると思うが、今後の継続はないのか。

事務局：委員ご指摘の通り、数値目標としては達成ではあるものの、市民への情報発信という点において課題は山積している状況である。市からの情報発信としてはチャットボットに限らず、あんしんメール、広報せき、ホームページとあり、今年度はホームページをリニューアルしており、引き続きの改善も必要と考えている。またSNS等を通して市民の方への情報提供は試行錯誤して取り組んでいこうと考えている。

委員：1回やってみてダメだったということではないため、積極的に色々と試して活用して頂きたい。

委員：この3年間に、厳しい意見が多く出されたが、当初から、特に①時間的なこと（すぐにできることはすぐに実施すること）、②金銭的なこと（公費の無駄使いなど金銭に関わることは早く直すべきである）、③民間企業では考えられないこと（例えば働き方改革、ICTの利用、効率化などの項目）は、すぐにでも対応してほしいとの意見が多く挙げられていた。

この3年間の進捗状況を見ても、令和3年、4年と比較して順調な項目、やや遅れている項目、遅れている項目など、年度によりばらつきがみられた。これらの項目は、改革と名付けなくても、時代の流れで今では普通のことになった項目もあり、毎年の判断基準と項目の特徴をつかむ必要性を感じた。

○議事②

・ 関市における行財政改革の課題と今後の方向性について、事務局より説明。

【主な意見】

委員：この3年間に始まった時は大きな支出をできるだけ抑えることが必要であったが、今後は一度立ち止まってやり直していきたい、という事だと思うが、視点として一つ追加してみてはどうかと思うことがある。

仕事で様々な会社を伺うと、電気代・ガス代に困っているが、水道代についても困っている所もあり、今回の水道料金の値上げについてもなかなか厳しいという話を聞く。大きな会社であればそうでもないが、5人程度やそれ以下の人

数の工場の場合は厳しいと話し、またそういった小さな工場の方が関の刃物を支えている現実もある。

今回のSAPⅢについて住民サービスの向上は力を入れているようだが、もっと商工業を支援していくという視点を取り入れていくのはいかがかと思う。具体的に言うと<取組項目14 水道事業経営戦略の見直し>で水道料金の値上げについて、小規模事業者で生産過程に水道の使用が欠かせない場合は、値上げについて抑えるような措置等、商工業へのサービス向上という視点も検討いただきたい。

委員：これまでのやり方を廃止や見直しということで、ぜひ進めて欲しい。

田舎の学校で統廃合があり去年も1校減り25校になったが、その中で友達もいなくなり街中へ引っ越しするという方もいると聞く。そういったことが進むと村が消滅し、そこへ獣が出てくることは当然のこと。これは非常に難しい問題であるが、簡単に「統廃合しましょう」、ではなく、その地域の住民サービスを学校区域でまずは考えて欲しい。

隣の富加町においては、田舎であっても人口が着実に増えているため、関市に足りないものは何かをもう一度見直して欲しいと思う。費用対効果のこともあるが、将来ある子どもたちの学びの場でもあるので、その事も片隅に考えながら、次期の行政改革を考えてもらえたらなと思う。

委員：市に入るシンクタンクの方はその市の考えに合わせて話している印象であるが、全く逆の対応をするシンクタンクを見た経験がある。以前、〇〇市の施設を造る時、市民の懇談会に参加した際、同席したシンクタンクの方は〇〇市のことを徹底的に調べた上、施設の場所、道順、市民の方の利便性などについて厳しく指摘し、そこに参加した人はかなり怒っていたが、私は正直に言っているなと感じた。そのシンクタンクの方々は途中からいなくなったが、現実として造られた大きな施設は維持するだけでも大変な負担となっている。ぜひ関市でもしっかり現状と問題点を指摘できるシンクタンクや外部業者を選んで欲しいと思うとともに、外部意見を聞いて欲しい。

また、3年間思ってきたのは、この報告書は関市のホームページに公開されるが、市民の方からの意見が全然来ない状況であり、会議の場で熱心に考えて下さる方との差が大きいと感じるので、一般の方々の意見も聞けるような会議になっていければと思う。ホームページへの公開だけで意見がでるかどうか、公開方法と、なるべく多くの市民の方の意見を聞く手段を検討いただきたい。

○閉会の挨拶（市長公室長）

（午前11時48分 閉会）